令和４年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

鹿児島市社会福祉協議会

令和４年度　事業報告

近年、核家族化や少子高齢化の急速な進行、住民相互のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境はますます厳しさを増し、8050問題やダブルケア、生活困窮者の増加、児童や障害者などへの虐待、社会的孤立など、地域の福祉課題は複雑化・複合化しています。

地域では、人と人との絆が大切にされ、思いやりや助けあいにあふれ、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりのための、きめ細やかな福祉が強く求められています。

令和４年度においても、新型コロナウイルス感染症の流行は、人々の生活様式や地域での福祉活動などにおいて影響を及ぼしました。

このような中、鹿児島市社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、「第５次地域福祉活動計画」（令和４年度～８年度）（以下「第５次活動計画」という。）の初年度にあたり、組織体制の拡充や社会福祉法人連絡会の設立に向けた準備会議の開催などを行うとともに、引き続き、地域住民、関係団体及び鹿児島市（以下「市」という。）との連携を緊密に図りながら様々な事業に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部では規模の縮小などをせざるを得ない事業や光熱費などの高騰の影響を受けた事業はありましたが、全体としては、おおむね順調な運営、取組を行うことができました。

以下、令和４年度の事業の実施状況について報告します。

〔重点目標に対する実施状況〕

1　地域福祉活動の推進

相談支援体制の充実を図るため「福祉支援係」を新設するとともに、引き続き、地域福祉活動の担い手の掘り起こしや活動参加のきっかけづくりを目的とした講座の開催、子ども食堂の運営に関する支援、福祉団体に対する助成などを行いました。

また、市内の社会福祉法人が分野を超えて相互に連携・協働し、情報の共有や地域生活課題の解決につなげていくことを目的とする「社会福祉法人連絡会」の設立に向けた準備会議を開催するとともに、一部の地域福祉館にベビースケール等を新たに設置しました。

さらに、市が開催する重層的支援体制整備移行準備事業における多機関協働会議の構成メンバーとして、複雑化・複合化した福祉課題に迅速に対応していくための仕組みづくりに参画しました。

このほか、コロナ禍に対応した取り組みとして、引き続き、生活に困窮する方々に対する緊急小口資金等の貸付業務や高齢者の方々のワクチン接種オンライン予約サポートなどを行いました。

2　校区社協活動への支援

地域における福祉活動の中心的役割を担う校区社協に対しては、引き続き、広報紙作成やふれあい子育てサロンへの助成、研修会の開催、本会のホームページでの活動紹介を行うとともに、校区社協による高齢者世帯の見守り活動の一助となるよう、校区社協を通じて「安心情報キット」を配布するなど活動への支援を拡充しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、校区社協が事業を中止や延期するなど活動を自粛せざるを得ない状況もありましたが、活動の継続を図るため他校区社協の事例紹介や事業内容の変更などに関する助言・支援を引き続き行い、活動の回復や活性化を図りました。

そのほか、校区社会福祉協議会連絡協議会（以下「校区社協連」という。）に対しては、校区社協相互の情報共有と交流を図るため、研修会や地域別の意見交換会開催等の支援を行いました。

3　支部及び地域福祉館における地域福祉の推進

支部や地域福祉館は、地域における福祉活動の拠点であることから、地域福祉支援員との連携を図りながら、校区社協等への支援のほか、小地域ネットワーク団体等の登録や地域福祉支援ルームの運営を行いました。

支部においては、職員体制の強化を行い、これまで以上に地域の会合等に積極的に出向くとともに、情報発信や相談体制の充実を図りました。

また、地域福祉館（41館）では、感染症拡大防止のため、規模の縮小や参加人数の制限などの工夫を行いながら、福祉館イベントや福祉相談、ボランティア出前講座、福祉館サロン等を行うとともに、各館ごとにイベント情報等を掲載した「福祉館だより」を年４回発行し、町内会等を通じて地域の方々へ情報提供を行いました。

さらに、これまで法人本部や支部等で行っていた「高齢者安全杖有償提供事業」における杖の受渡しを開始し、市民の利便性の向上を図りました。

4　ボランティア活動の振興

ボランティアの登録やコーディネート、研修会の開催等を行うボランティアセンターの運営をはじめ、ボランティア推進校に対する活動費の助成、出前講座の実施や広報紙「ボラセンだより」の発行、ホームページでの情報発信による広報啓発を行うとともに、３年ぶりに「わくわく福祉交流フェア」（市と共催）を開催しました。

また、活動へのきっかけづくりとして誰でも気軽に参加できる「Openingボランティア講座」や市民が介護保険施設等で行うボランティア活動に対してポイントを付与する「介護施設ボランティアポイント事業」を新たに実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、サマーボランティア体験事業は内容を変更し、子どもたちによる絵手紙を福祉施設に届けました。

このほか、「桜島火山爆発総合防災訓練」に参加し、「災害ボランティアセンター」の設置・運営訓練を実施しました。

5　成年後見制度の利用促進

成年後見センターの管理運営を行う中で、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方々に対して、成年後見制度に関する相談対応を行うとともに、講演会等の開催や地域の研修会等へ出向き広報啓発に努めました。

また、新たに市が策定した「成年後見制度利用促進計画」に基づき、中核機関として関係団体と連携しながら、地域連携ネットワークの構築や本人の特性を踏まえた後見人の選任支援（受任者調整）にも取り組みました。

なお、急増する来所相談に対応するため、令和５年１月から事前予約制を導入しました。

6　介護認定調査の実施

要介護及び要支援の認定を受けようとする申請者の自宅などを認定調査員が訪問し、心身の状況や環境について、公正・中立な調査を実施しました。

7　指定管理者制度導入施設の適正な管理

地域福祉館（41館）、高齢者福祉センター（与次郎、東桜島、谷山、桜島、郡山、吉野、伊敷）、心身障害者総合福祉センター及び吉田福祉センターについては、市との協定に基づき、利用者相互のふれあいや交流を図り、生きがいづくりや健康づくりを支援するなど、引き続き、適正な管理運営に努めました。

8　共同募金運動への取組

鹿児島市共同募金委員会と連携し、町内会や校区社協、民児協など各福祉団体とともに実施しました。

９　広報活動

市民の方々に、地域福祉に対する理解や本会の各種事業への積極的な参加や協力を得られるよう、広報紙「かごしま市社協だより」を年３回発行し、町内会や事業所等に配布するとともに、「社協出前講座」の実施やホームページを活用した情報発信、市の広報紙「市民のひろば」への各種情報の掲載、報道機関への取材依頼等を通じて広報啓発に努めました。

また、視覚障害者向けに「音声版社協だより」を作成し配布しました。

10　法人の運営

事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議するため、適宜、理事会及び評議員会を開催しました。

また、事業実施におきましては、必要な人材及び寄附金や会費、共同募金助成金等の経営資源の確保に努め、職員に対しては、適切な労務管理と職責や職務内容に応じた研修を実施し、資質向上を図りました。

令和４年度　事業報告附属明細書

目次

第１　理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会 6
　１　理事会の開催 6
　２　評議員会の開催 6
　３　評議員選任・解任委員会 7
第２　監査 7
第３　実施事業の概要 8
　１　地域福祉活動の推進 8
　２　校区社協活動への支援 10
　３　支部及び地域福祉館における地域福祉の推進 11
　４　ボランティア活動の振興 13
　５　成年後見制度の利用促進 17
　６　介護認定調査の実施 19
　７　心身障害者(児)福祉活動の推進 20
　８　高齢者福祉活動の推進 21
　９　施設の管理運営 21
　１０　生活福祉資金貸付事業 27
　１１　共同募金運動への取組 27
　１２　広報活動 28
　１３　法人の運営 28
第４　相談・苦情の処理状況 31

第１　理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

１　理事会の開催

	開催日	審議事項
第１回 臨時理事会 （決議の省略）	４月28日	（決議事項） 第１号議案　監事の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第２号議案　決議の省略による臨時評議員会招集の件 第３号議案　評議員の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第４号議案　決議の省略による評議員選任・解任委員会招集の件
第１回 通常理事会	５月26日	（報告事項） 報告第１号　職務執行状況について （決議事項） 第５号議案　内部公益通報に関する規程制定の件 第６号議案　令和３年度事業報告 第７号議案　令和３年度収支決算 第８号議案　令和４年度収支補正予算（第１号） 第９号議案　理事の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第10号議案　定時評議員会招集の件 第11号議案　評議員選任・解任委員会委員の退任に伴う補欠選任の件 第12号議案　評議員の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第13号議案　評議員選任・解任委員会招集の件
第２回 通常理事会	６月22日	（決議事項） 議　　題　会長及び常務理事選定の件 第14号議案　常勤役員報酬改定の件
第３回 通常理事会	３月17日	（報告事項） 報告第２号　職務執行状況について （決議事項） 第15号議案　令和４年度収支補正予算（第２号） 第16号議案　役員等賠償責任保険契約締結の件 第17号議案　福祉功労者表彰規程一部改正の件 第18号議案　評議員、理事及び監事の候補者選出規程一部改正の件 第19号議案　職員就業規程等一部改正の件 第20号議案　役員等の報酬等に関する規程一部改正の件 第21号議案　令和５年度事業計画 第22号議案　令和５年度収支予算 第23号議案　苦情解決に係る第三者委員の退任に伴う補欠選任の件 第24号議案　臨時評議員会招集の件

２　評議員会の開催

	開催日	審議事項
第１回 臨時 評議員会 （決議の省略）	４月30日	（決議事項） 第１号議案　監事の退任に伴う補欠選任の件
定時 評議員会	６月17日	（報告事項） 報告第１号　生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例措置について （決議事項） 第２号議案　令和３年度事業報告 第３号議案　令和３年度収支決算 第４号議案　令和４年度収支補正予算（第１号） 第５号議案　理事の退任に伴う補欠選任の件

	開催日	審議事項
第２回 臨時 評議員会	３月24日	（報告事項） 報告第２号　生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例措置の終了について 報告第３号　緊急小口資金等の特例貸付に係る償還への対応について （決議事項） 第６号議案　令和４年度収支補正予算（第２号） 第７号議案　役員等の報酬等に関する規程一部改正の件 第８号議案　令和５年度事業計画 第９号議案　令和５年度収支予算

３　評議員選任・解任委員会

	開催日	審議事項
第１回 評議員選任・解任委員会 （決議の省略）	４月28日	（決議事項） 第１号議案　評議員の退任に伴う補欠選任の件
第２回 評議員選任・解任委員会	６月７日	（決議事項） 第２号議案　評議員の退任に伴う補欠選任の件

第２　監査

	開催日	監査事項
決算監査 （監事監査）	５月12日 ５月13日 ５月16日	令和３年度中の業務執行及び会計処理状況
内部監査	２月27日 ２月28日 ３月２日	次の課における業務執行及び会計処理状況 ・　地域福祉推進課 ・　成年後見センター ・　郡山支部・高齢者福祉センター郡山 ・　心身障害者総合福祉センター

第３　実施事業の概要

凡例	[ ]内の数字は、前年度の実績

１　地域福祉活動の推進

「第５次活動計画」の進捗状況の確認を行うとともに、福祉活動を行う団体への支援や福祉功労者の表彰、コロナ禍に対応した事業など様々な取組を行いました。

⑴　地域福祉活動計画の進行管理

ア　地域福祉活動計画推進委員会

	開催日	内容
第１回	７月28日	⑴　第４次活動計画の令和３年度実施状況報告 ⑵　第５次活動計画の取組

⑵　福祉学び合い講演会・講座の開催

市民が地域福祉への関心を深め、福祉活動への参加と活動の担い手の掘り起こしにつなげることで地域福祉活動の活性化を図るため、講演会等を開催しました。

ア　講演会

内容	開催日	参加人数
講話：「コロナ禍こそ、考えよう！安心して暮らせる地域づくり」 ～手をさしのべる事は「地域」でしかできない～ 講師：「地域の見守りネットワーク」の仕掛け人　澤登　久雄　氏	９月10日	91 [46]

イ　講座

内容	開催日	参加人数
講演①：「みんなが元気になるコミュニティづくりー地域共生社会を目指してー」 講師　：鹿児島大学法文学部法経社会学科准教授　金子　満　氏 講演②：「町内会長就任、そして実践へ…みんなが活躍する地域を目指して」 講師　：唐湊山の手町内会会長　金子　陽飛　氏	12月17日	67 [41]

⑶　「社会福祉法人連絡会」の設立に向けた準備会議の開催

連絡会の設立に向けた準備会議を開催し、取組む事業や各法人への呼びかけ等について協議しました。

	回数(時期)	内容
設立準備会議	第１回(６月)	・ 社会福祉法人連絡会の設立に向けて
	第２回(３月)	・ 連絡会の設立について ・ 令和5年度事業計画･予算 ・ 今後のスケジュール
実務者会議	第１回(８月)	・ 連絡会の目的及び取組む事業、設立時期、設立までのスケジュール
	第２回(９月)	・ 連絡会の財源、法人間の情報共有･集約
	第３回(11月)	・ 各法人への呼びかけの方法及び対象法人、連絡会名称、組織体制
	第４回(２月)	・ 各法人への意向調査の結果報告 ・ 第2回設立準備会議に提案する内容 （名称、目的、取組内容、組織体制、設立趣意書等）

⑷　子ども食堂への支援

子ども食堂運営団体に対する助成やホームページによる広報等により支援しました。

助成団体数	22[16]

⑸　民間福祉団体に対する助成

福祉活動の推進に努めている民間福祉団体及び大会に対し、助成金を交付しました。

助成対象	件数
市地区民児協	50[50]
市単位高齢者クラブ	315[314]
第56回全国ろうあ青年研究討論会in鹿児島（県聴覚障害者協会）	1[1]

⑹　地域福祉活動助成

共同募金運動に協力した町内会等の団体に対して、助成金を交付しました。

助成対象	件数
町内会・自治会等	537[570]
市地区民児協	47[42]
校区社協等	3[0]
市高齢者クラブ連合会	1[0]

⑺　車椅子の貸出

家庭や外出などで一時的に車椅子が必要な方に、無料貸出を行いました。

場所	合計	本部等	支部					地域福祉館
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山	
貸出台数	747[452]	373	6	12	4	16	11	325

（使用目的内訳　家族等介助：616、福祉イベント等：14、総合学習：117）

⑻　ベビースケールの設置（一部地域福祉館）【新規】

育児不安の軽減を図るため一部地域福祉館にベビースケール等を配置しました。

利用件数	ベビースケール	乳幼児身長計
	90	91

※　坂之上・武岡・田上台福祉館（児童ルーム）

⑼　コロナ禍に対応した事業の実施

ア　新型コロナワクチン接種オンライン予約サポート

高齢者の方々のワクチン接種オンライン予約のサポートを実施しました。

支援人数
246[652]

イ　生活福祉資金貸付制度における特例貸付（９月まで）

貸付件数	貸付金額（千円）
1,080[7,751]	375,800[3,352,650]

⑽　「かごしまおもいやりネットワーク事業」への参加

県社会福祉法人経営者協議会が中心となり、社会福祉法人が連携して生活困窮者に対する相談や支援活動を行う「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参加しました。

受付・支援件数	1[0]

⑾　福祉功労者表彰式の開催

社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方々を表彰しました。

・開催日　　11月25日

・場　所　　かごしま市民福祉プラザ5階　大会議室

区分		人数	団体数
表彰状の部	民生委員・児童委員	21	―
	校区社協の役職員	6	―
	民間社会福祉事業関係団体等の役職員	1	―
	本会の役員	―	―
	共同募金運動奉仕者	1	1
	ボランティア活動	2	5
	社会福祉事業関係団体等	―	1
	自立生活者	―	―
	合計	31[152]	7[6]
感謝状の部	特別功労者	1	―
	寄附	14	23
	共同募金運動	―	13
	合計	15[10]	36[24]

⑿　災害罹災者への見舞品支給

災害（火災、暴風、豪雨等）により被害を受けた罹災者に、見舞品を支給しました。

災害種別	見舞品	件数
火災	タオルセット	9[28]

2　校区社協活動への支援

校区社協連の運営支援及び各校区社協が行う活動に対する支援、助成を行うとともに、講座や研修会の開催、校区社協を通じた「安心情報キット」の配布などを実施しました。

⑴　校区社協連の運営支援

ア　会議開催の支援

校区社協連の総会、幹事会の開催を支援しました。

	回数(時期)	内容
総　　会	１回(４月)	（会議の内容） ・　令和３年度校区社協連活動報告 ・　令和４年度校区社協連活動計画(案) ・　第５次活動計画 ・　第５期地域福祉計画 ・　校区社協活動活性化助成金
幹 事 会	第１回(４月)	
	第２回(10月)	・　令和４年度 校区社協連活動経過報告 ・　令和４年度 地域別意見交換会 ・　令和５年度 校区社協連活動計画（概要案）

イ　テーマ別研修会

活動をより具体的に進めていくために、テーマ別研修会の開催を支援しました。

内容	開催日	参加校区数	参加人数
講話①：「見守り活動制度について」 講　師：南日本新聞社 読者局 販売部　副部長　橋口 雄作 氏(８月５日) 読者センター長　川路 真一 氏(８月26日)	８月５日	29	40
講話②：「地域交流と見守りの場としてのこども食堂」 講　師：特定非営利活動法人かごしまこども食堂支援センター たくして 理事長　園田 愛美 氏	８月26日	27	47
	合計	56	87

⑵　各校区社協活動推進のための支援

ア　校区社協の状況

	構成数
校区社協	73[73]

イ　校区社協への支援状況

内容	校区社協数
活動費の助成 地域性に応じた活動を促進するため活動費の一部を助成	73[73]
広報紙作成費の助成 広報紙を発行している校区社協に作成費の一部を助成	58[57]
広報用資材購入費の助成 横断幕、のぼり旗、ジャンパー等の作製費の一部を助成	32[25]
ホームページにおける各校区社協の活動紹介 73校区社協ごとの広報用ページの内容を随時更新し、広報を支援	
支え合いマップ作成の推進 要支援者の見守り活動等の更なる充実を図ることを目的とした支え合いマップ作成を推進するための研修会を実施	4 [5]
「安心情報キット」の配布 プラスチック製容器（キット）に対象者の医療情報を記載する用紙等を入れて冷蔵庫に保管する「安心情報キット」を、校区社協を通じて希望する高齢者世帯等に配布	40（6,453セット） [17（761セット）]

ウ　校区社協地域別意見交換会の開催

校区社協相互の情報共有と交流を図るため、市内を８つの地域に分けて意見交換会を開催しました。

	校区社協名	校区数	参加人数	開催日	会場
1	名山・山下・松原・城南・明和・西田	6	9	11月22日	かごしま市民福祉プラザ
2	坂元・坂元台・清水・大龍・草牟田・原良・東桜島地域・桜島地域	8	11	11月24日	
3	荒田・八幡・紫原・西紫原・鴨池・南	6	12	11月29日	
4	武岡台・武岡・武・田上・西陵・広木・松元・東昌・春山・石谷・宇宿地域	11	19	11月29日	
5	谷山・西谷山・東谷山・清和・和田・中山・桜丘東・桜丘西・星峯西・星峯東・宮川・皇徳寺	12	20	12月8日	谷山サザンホール
6	錦江台・福平・平川・錫山・瀬々串・中名・喜入・前之浜・生見・一倉	10	18	12月8日	
7	伊敷・花野・西伊敷・伊敷台・小山田・犬迫・玉江・皆与志・郡山地域	9	17	12月20日	伊敷公民館
8	川上・吉野・吉野東・大明丘・吉田・宮・本城・牟礼岡	8	14	12月22日	吉田福祉センター
合計		70	120		

⑶　ふれあい子育てサロン活動に対する支援

ア　活動費の助成

内容	校区社協数
諸謝金、会議費、保険料、広報費、会場借上料　等	61[61]

イ　研修会の開催

内容	開催日	参加人数
講話：「保育に役立つ！盛り上がる！親子で楽しむいろいろな遊び」 講師：日本幼年教育研究会　髙附　恵子　氏	７月27日	76[86]

⑷　介護講習会開催の支援

校区社協が開催する介護講習会について、高齢者や病気療養者、認知症の高齢者等の介護に役立つよう、介護技術等の実技指導を含めた支援を行いました。

開催回数	校区社協数	参加人数
49	41	1,014[632]

３　支部及び地域福祉館における地域福祉の推進

地域住民の交流や文化活動の場としての利用に加えて、福祉活動を推進する拠点施設として、小地域ネットワーク活動（校区社協、町内会等の地域の団体又は個人が連携して行う福祉活動）やボランティア活動の支援、福祉に関する相談への対応等に取り組みました。

⑴　小地域ネットワーク活動への支援

校区社協や地域福祉支援員と連携し、小地域ネットワーク活動の活性化を図るための支援を行いました。

ア　小地域ネットワーク活動を行う団体の登録状況

（ｱ）本部・支部　（単位：件）

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
団体数	87 [81]	―	15	7	14	26	25
人数	17,994 [17,012]	―	2,570	1,899	3,189	7,137	3,199
団体間の連絡会等実施	152	129	1	0	5	17	0
団体に関する情報の収集	300	126	0	0	134	12	28
団体からの相談への対応	97	72	0	1	11	11	2
活動への助言等	278	208	4	0	37	15	14
活動団体との橋渡し	16	16	0	0	0	0	0
共催イベントの企画	2	2	0	0	0	0	0
団体の会合等への参加	335	210	19	15	52	39	0
事務作業への助言等	604	203	42	109	89	101	60
人材の掘起し	0	0	0	0	0	0	0
その他	497	379	0	41	56	21	0
合計	2,281 [2,178]	1,345	66	166	384	216	104

（ｲ）地域福祉館

団体数	448[455]
人数	156,122[158,146]

イ　支援ルームの提供

小地域ネットワーク活動を行う団体等に対して、事務作業や情報交換、資料の整理保管等を行うために支援ルームを提供しました。

内訳	団体数
小地域ネットワーク活動団体	1,471
その他の団体	927
合計	2,398[2,066]

⑵　ボランティア活動への支援

ボランティア活動の登録受付等、活動の活性化を図るための支援を行いました。

登録件数
228[225]

⑶　福祉に関する相談・情報提供

福祉全般に関する相談に応じ、必要な場合は各専門機関への橋渡しを行いました。

ア　本部・支部における受付状況　（単位：件）

内訳		合計	本部	支部				
				吉田	桜島	喜入	松元	郡山
受付件数		126 [122]	61	12	0	34	5	14
	職業・生計	33	23	1	0	6	1	2
	家族・健康・教育	13	8	2	0	1	0	2
	福祉関係（高齢・障害等）	37	13	7	0	12	1	4
	その他（財産・法律等）	43	17	2	0	15	3	6

イ　地域福祉館における受付状況

受付件数	310[565]

⑷　サロン実施状況

地域住民の居場所づくりを目的に、地域福祉館においてボランティアが主体となり運営する福祉館サロンや、地域福祉館のロビー等をいつでも気軽に集える場所として活用した毎日サロン「かたいもんそ」を実施しました。

内訳	実施館数	利用人数
福祉館サロン	14[15]	2,915[2,436]
毎日サロン「かたいもんそ」	36[36]	5,559[5,719]

⑸　地域福祉館ネットワーク団体会議等開催状況

地域福祉館が中心となり、ネットワーク団体間の連携を深めることを目的にした地域福祉館ネットワーク団体会議や清掃活動等の合同イベントを開催しました。

内訳	開催館数
地域福祉館ネットワーク団体会議	6[4]
ネットワーク団体との合同イベント	2[8]

⑹　地域福祉支援員活動事業（市から受託）

ア　地域福祉支援員による支援

地域福祉支援員については、市内を六つのブロックに分け、校区社協や町内会、地区民児協と連携を図りながら、地域福祉ネットワークの拡充について支援を行いました。

内訳	件数
地域の情報の把握・情報提供等	10,073
小地域ネットワーク活動	5,217
地域福祉館との連携	1,597
その他（子育てサロン等）	3,259
団体や個人からの相談	3,245
福祉マップ作成支援	77
合計	13,395[10,536]

イ　校区社協の見守りネットワーク活動への支援状況

ひとり暮らしの高齢者の孤独死防止等のため、安否確認が必要と思われる方々に対する声かけや目配り・気配り等の見守り活動についての助言指導を行いました。

校区社協数	59[59]

4　ボランティア活動の振興

⑴　ボランティアセンターの運営

ボランティア活動を通じて地域住民の福祉に関する理解と関心を高め地域福祉の向上に寄与するとともに、広く市民のボランティア活動の振興を図るため、ボランティアセンターを運営しました。

ア　開館日数・来館者数

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
開館日数	―	244	296	296	243	243	296
延利用人数	29,449[35,538]	29,048	103	46	23	85	144

イ　ボランティアコーディネート（橋渡し）の実施

活動を行う個人・団体と支援を求めている個人・団体との橋渡しを行いました。

（ｱ）コーディネート件数

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
託児	42	14	0	0	0	0	28
演芸・音楽	51	3	0	2	0	0	46
高齢者福祉関係	7	5	0	0	0	0	2
障害者福祉関係	25	25	0	0	0	0	0
子ども青少年育成	287	287	0	0	0	0	0
ｲﾍﾞﾝﾄ補助	97	97	0	0	0	0	0
その他	94	94	0	0	0	0	0
合計	603 [565]	525	0	2	0	0	76

（ｲ）コーディネート人数

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
コーディネート人数	1,721 [1,296]	1,331	0	4	0	0	386

ウ　ボランティア活動についての相談・助言等

活動についての参加や依頼等の相談を受け付け、助言等を行いました。

（単位：件）

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
活動参加	978	933	1	3	1	1	39
活動依頼	248	208	0	1	0	0	39
情報提供	55	27	0	0	0	3	25
保険・登録関係	610	508	11	19	22	10	40
講師等の紹介・案内	29	29	0	0	0	0	0
広報活動	31	18	11	0	0	0	2
その他	159	153	0	0	4	2	0
合計	2,110 [2,193]	1,876	23	23	27	16	145

エ　ボランティア団体・個人登録の推進

活動を行う団体等の登録を推進し、情報提供や橋渡しなどの支援を行いました。

内訳	ボランティア登録件数	
		合計人数
団体数	313	29,819[29,964]
構成員人数	29,438	
個人数	381	

⑵　ボランティア活動の啓発・推進

ア　ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動の推進とボランティアセンターの運営等について、審議しました。

開催日	内容
６月27日	・令和３年度ボランティア活動振興事業の実施報告について ・令和４年度ボランティア活動振興事業の実施計画について

イ　各種講座の開催

名称	内容	開催回数	参加人数
ボランティア入門講座	活動を始めようとする方等を対象とした講座を実施	6	126
ボランティア出前講座	学校や地域からの依頼により、職員が出向いて講話や車椅子体験等を実施	28	1,657
ボランティアセンター講座	ボランティアセンターを会場として、講話や車椅子体験等の講座を実施	4	61
Openingボランティア講座	活動のきっかけ作りとして誰でも気軽に参加できる講座を実施	10	108
合計		48 [38]	1,952 [1,445]

ウ　ボランティア活動啓発のためのイベント開催

内容	実施時期	参加人数等
第９回わくわく福祉交流フェア（市と共催） 市民の福祉への理解を深める交流イベントとして、ボランティアや福祉施設、関係団体等による模擬店、バザー等の催しを実施	11月６日	5,000
「社会人のボランティア体験事業」の実施【新規】 ボランティア活動をしたいと考えている社会人に、体験する機会を提供	11月	体験施設数：3 体験者数：4

エ　広報紙「ボラセンだより」の発行

	発行月	発行部数
「ボラセンだより」を発行（年３回）し、ボランティア登録団体・個人、学校、公共施設等に配布	第71号(10月) 第72号(令和５年１月) 第73号(　〃　４月)	各10,000 合計30,000 [45,000]

オ　ボランティア活動保険助成

安心してボランティア活動を行っていただくために、ボランティア活動保険加入者に対し１人当たり100円の助成を行い、保険への加入促進を図りました。

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
加入人数	7,073[6,724]	6,872	30	15	127	22	7

カ　収集ボランティアの推進

簡単に自宅でできるボランティア活動として、収集ボランティアを推進しました。

収集品名	実績値
ペットボトルキャップ	813.5kg
使用済み切手	6.7kg
書き損じはがき	2,591枚
コンタクトレンズの空ケース【新規】	19.4kg

キ　かごしまボランティア連絡協議会への支援

ボランティア団体間の交流促進などを行う団体に対し、助成を行いました。

ク　その他

内容	実施時期	参加人数等
「喜入地域福祉ボランティアの集い」の開催 校区社協による事例発表や相互交流を実施	１月	150[0]
「郡山地域ボランティア登録者の会」の開催 ボランティア団体と福祉施設等のニーズ団体との橋渡しや意見交換を実施　※コロナ禍により書面による。	３月	ボランティア団体数：11 ニーズ団体数：10

⑶　ボランティア推進校の支援

児童・生徒が様々なボランティア活動を体験して福祉の心や社会奉仕の精神を育むことを目的に、小・中・高等学校をボランティア推進校として指定し、連絡会や研修会等を開催するとともに、活動費の助成等の支援を行いました。

ア　ボランティア推進校の指定・支援

市内の小・中・高等学校の149校のすべてをボランティア推進校として指定し、支援を行いました。　（単位：校）

内訳	合計	小学校	中学校	高等学校
令和３年度まで	146	80	44	22
令和４年度新規	3	1	1	1
累計	149[146]	81	45	23

イ　ボランティア推進校連絡会、ボランティアリーダー研修会等の開催

ボランティア推進校連絡会や児童・生徒のリーダー・指導者を対象とした研修会等を開催しました。

内容	開催日	参加者	
		校数	延人数
ボランティア推進校連絡会	５月30日	75	75
ボランティアリーダー研修会	７月25日	17	47
ボランティア推進校指導者研修会	11月28日	64	64
合計		156[174]	186[205]

ウ　サマーボランティア体験事業

ボランティア活動に関心のある児童・生徒・学生を対象に、夏休み期間中に福祉施設で活動を体験する事業を行っていますが、今年度は、中止となった体験活動の代わりに子ども達が自宅で絵手紙（絵とメッセージを書いたカード）を書き、ボランティアセンターを通じて福祉施設へ届ける活動を行いました。

絵手紙枚数	寄贈施設数
小 学 校：277(20校) 中 学 校：107(7校) 高等学校： 67(5校)　　合計451枚	高齢者施設：21 障害者施設： 3

エ　ボランティア推進校の表彰

ボランティア推進校の中で、功績が顕著な学校を表彰しました。　（単位：校）

特別表彰	4[4]　（最優秀賞）　小学校：１ （優 秀 賞）　小学校：１、中学校：１、高等学校：１
一般表彰	1[5]　高等学校１

オ　児童・生徒のふれあいボランティア活動事業

小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動に取り組むきっかけづくりと活動の継続を図るため、活動の実績に応じたポイントを付与し、10ポイント貯まるごとに認定証を発行しました。

ボランティア活動認定証の発行（枚）	275[302]

カ　「青少年ボランティア活動記録集」の作成

児童・生徒・学生によるボランティア活動を冊子としてまとめ、学校や公共施設等に配布しました。

「青少年ボランティア活動記録集」の作成（冊）	500[1,000]

⑷　シニアボランティア活動等の支援

ア　高齢者いきいきポイント推進事業（市から受託）

本会が管理、募集するボランティア活動等や健康診査の受診を行った65歳以上の元気な高齢者にポイントを付与し、生きがいづくりや健康づくりを促進しました。

イ　介護施設ボランティアポイント事業（市から受託）

介護施設等のボランティア活動を行った本市に居住する方々（年齢制限なし）にポイントを付与し、地域全体で高齢者を支える意識を高めるための活動を促進しました。

ア・イ共通

登録人数（累計）	うち新規	ボランティア活動保険加入人数	受入施設数	事業説明会回数
1,658 [1,628]	30 [38]	1,165 [1,213]	271 [268]	14 [7]

ウ　ボランティア活動者養成講座（市から受託）

上記ア、イの事業において活動実績のない登録者等を対象に、介護保険施設等での活動体験の機会を提供するものであるが、コロナ禍により施設内での活動に代えて、必要な基礎知識・技術を習得する講座を実施しました。

受講人数
23[12]

⑸　災害ボランティア活動の支援

内容	概要
①桜島火山爆発総合防災訓練への参加	避難所生活者の支援を想定した災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施 (1) 開催日　1月7日 (2) 会場　市立甲東中学校校庭 (3) 参加人数　本会職員 16 県社会福祉協議会職員 2 鹿児島青年会議所 2 合計 20[20]
②災害ボランティア研修会の開催	ボランティア登録者や本会職員を対象にした研修会を開催 第１回　開催日　５月27日 会場　かごしま市民福祉プラザ５階大会議室 参加人数　41[89] 第２回　開催日　11月24日 会場　かごしま市民福祉プラザ５階大会議室 参加人数　73[0]
③災害ボランティアバスの運行	他都市の大災害時に、被災地の災害支援を行うボランティアの活動を支援するために災害ボランティアバスを運行する計画だったが、想定されるような災害支援活動はなかったため、運行しなかった。

5　成年後見制度の利用促進

成年後見センター運営業務（市から受託）

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力の不十分な方々が、自分らしく安心して暮らすことができるよう「成年後見制度」に関する相談、利用支援、広報啓発を行いました。

ア　開館日数・相談状況

開館日数	相談件数		
		新規	継続
243[242]	842[817]	486[445]	356[372]

（相談の内訳）

相談者	件数
本人	54
親族	386
知人・近隣者	31
民生委員	3
地域包括支援センター	39
居宅介護支援事業所	77
障害者基幹相談支援センター	13
障害者相談支援事業所	17
医療機関	119
福祉施設	11
法律職	14
行政機関	46
後見人等受任者	4
その他	28
合計	842 [817]

相談対象者（本人）	件数
高齢者	568
知的障害者	81
精神障害者	96
不明・その他	97
合計	842 [817]

※「不明・その他」とは、電話による相談で本人の状況が確認できないもの等をいう。

相談方法	件数
電話	534
来所	268
訪問	39
その他	1
合計	842 [817]

※その他はリモートによる。

○　内容別（重複あり）

内容		件数	合計
相談員相談	成年後見制度に関すること	492	1,809 [1,901]
	申立手続に関すること	413	
	申立人に関すること	152	
	後見人等に関すること	254	
	申立・報酬費用に関すること	178	
	財産管理に関すること	54	
	身上保護に関すること	19	
	権利侵害に関すること	1	
	市長申立てに関すること	48	
	研修等に関すること	6	
	その他（他団体へのつなぎ等）	192	
専門職相談 （弁護士・司法書士によるもの）	申立支援	6	26 [35]
	債務整理	3	
	相続手続	9	
	財産の処分	2	
	訴訟手続等	1	
	その他（制度利用等）	5	
合計			1,835 [1,936]

○　専門ケース会議

総合的な専門的知見が必要な事案について、市や専門職団体等を構成メンバーとする会議を開催し、成年後見制度の必要性や適切な支援内容を検討し相談者に助言を行いました。

開催数	事案数
4	5

イ　成年後見制度に関する広報及び啓発

○　講演会、講座の開催

内訳	内　容	開催日	参加人数
講演会	「成年後見制度」講演会 演題：「ものがたりでわかる成年後見制度」 講師：作家　渡辺哲雄氏	９月３日	75
講　座	【制度を初めて学ぶ方対象】 ①「成年後見制度の概要と申立てについて」 講師：司法書士　坂口松平氏 ②「後見人活動の実際」 講師：社会福祉士　毛利満則氏	10月22日	47
	【制度の理解を深めたい方対象】 ①「成年後見制度の概要 その職務とこれから」 講師：弁護士　上山幸正氏 ②「家庭裁判所の役割と手続について」 講師：鹿児島家庭裁判所　西村公一氏 ③「後見人活動の実際」 講師：社会福祉士　松下浩樹氏	11月２日	66

○　訪問等による広報

施設・病院等への訪問や関係団体等が主催する会合等に出席し、成年後見センターの紹介や成年後見制度の説明等を行いました。

訪問先	訪問数
居宅介護支援事業所	13
病院	21
高齢者関係施設（特別養護老人ホーム等）	76
障害者関係施設（相談支援事業所等）	42
合計	152

※訪問数には会合等へ出席した団体数を含む。

ウ　成年後見制度利用促進に関する業務

○　成年後見制度推進協議会の運営

成年後見制度の利用促進等についての意見交換、情報共有等を図るため、成年後見制度推進協議会の運営を鹿児島市とともに行いました。

開催日	内容（成年後見センター関係分）
５月23日	【議事】令和３年度鹿児島市成年後見センター業務報告 【議事】令和４年度鹿児島市成年後見センター業務計画
８月29日	【報告】成年後見センターにおける相談事例
３月17日	【報告】受任者調整会議の実績について（令和５年２月末時点）

○　受任者調整会議の開催【新規】（10月から開始）

本人の状況や特性を踏まえ、適切な後見人等を家庭裁判所に推薦するための受任者調整会議を開催しました。

開催数	事案数
5	5

６　介護認定調査の実施（市から受託）

介護認定調査員が、介護保険申請者の自宅等を訪問し、本人や家族等から心身の状況等について聞取り等の調査を行う介護認定調査事業等を実施しました。

○　介護認定調査

内容	件数
受　託	27,035
調　査	26,858[26,497]

○　介護保険主治医意見書送付回収

内容	件数
受　託	27,896
回　収	27,823[28,514]

○　介護扶助認定調査

内容	件数
受　託	168
調　査	136[152]

○　他市町村認定調査

内容	件数
受　託	960
調　査	975[996]

7　心身障害者(児)福祉活動の推進

障害のある方々の生活の充実のために、地域活動支援センター運営事業等を実施しました。

⑴　地域活動支援センター運営事業（市から受託）

身体障害者等の自立の促進、生活の質の向上を図るため、機能訓練や講座等を実施しました。

ア　機能訓練実施状況

登録人数	実施回数	延利用人数
9[9]	88[76]	272[295]

イ　各種講座開催

内容		開催回数	登録人数	延受講人数
通年講座	料理講座	23	11	161
	点字講座	12	10	84
	点字パソコン講座	22	11	149
	手話講座	23	9	101
	カラオケ講座Ａ	24	12	133
	カラオケ講座Ｂ	43	22	304
	民謡講座	24	13	203
	三味線講座	24	7	131
	洋裁講座	24	11	169
	大正琴講座	21	6	58
	生花講座	22	5	78
	茶道講座	23	8	149
	卓球講座	17	15	145
	卓球バレー講座Ａ	49	21	471
	卓球バレー講座	22	16	102
	太極拳講座	23	7	83
	書道講座	24	11	136
	合計	420[326]	195	2,657[2,183]
短期講座	ボッチャ講座	7	16	49
	ｽﾎﾟﾚｸ講座	7	21	95
	バドミントン講座	7	7	27
	ﾌﾗｲﾝｸﾞﾃﾞｨｽｸ講座	7	11	38
	英会話講座	4	6	23
	小物作り講座	4	9	29
	合計	36[20]	70	261[168]

備考　講座の休止や実施時間の短縮等の感染予防対策を実施しました。

ウ　身体障害者交流会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「身体障害者交流会」は中止しました。

エ　送迎サービス（身体障害者福祉バス等運行状況）

運行回数	延利用人数
979[916]	3,164[2,974]

⑵　在宅重度中度心身障害児に対する見舞金贈呈

歳末たすけあい募金配分金から、民生委員・児童委員を通じて見舞金を贈呈しました。

対象	贈呈者人数	見舞金
在宅重度中度心身障害児（１・２級）	678[634]	1人3,000円

⑶　障害者団体に対する助成（再掲）

第56回全国ろうあ青年研究討論会in鹿児島に対して、助成を行いました。

8　高齢者福祉活動の推進

生きがいを持って安心して暮らせるために、安全杖の有償提供等を実施しました。

⑴　高齢者安全杖有償提供事業

生活の安全と行動範囲を広げる一助として、民生委員・児童委員の協力のもと、新たに地域福祉館41館を受渡場所に加え、安全杖を有償（自己負担額500円）で提供しました。

場所	合計	本部等	支部					地域福祉館
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山	
本数	1,191[938]	355	26	24	29	23	37	697

⑵　高齢者クラブへの助成（再掲）

自主的に福祉活動に取り組んでいる高齢者クラブに対して、助成を行いました。

⑶　在宅の寝たきりの高齢者に対する見舞品贈呈

在宅寝たきりの高齢者の方々に、民生委員・児童委員を通じて見舞品を贈呈しました。

内容	贈呈人数
大判バスタオル	1,661[1,635]

9　施設の管理運営

⑴　福祉コミュニティセンター

高齢者や障害のある方々の相互交流を図り、生きがいと健康づくりを支援するため、温泉入浴、健康相談、教養講座等のサービスを提供し、市民福祉の向上に努めました。

ア　開館日数・利用状況

開館日数	うち温泉入浴	延利用人数			1日平均
296	296	温泉入浴	（高齢者）	21,071	71.1
			（障害者）	7,073	23.8
		その他（会議室、教養講座等）		15,346	51.8
		合計		43,490 [40,436]	146.9

備考　浴槽壁等改修の為、１月30日～２月13日まで２階女子浴室は休止

イ　健康相談の開催状況

開催日数	延相談人数
100	1,893[1,741]

ウ　各種講座

種別	講座	回数	延受講人数	
				合計
教養講座	華道（池坊）	12	72	1,032 [961]
	茶道入門	12	58	
	茶道初級	12	102	
	さつま狂句	12	151	
	囲碁入門	12	229	
	実践囲碁	12	247	
	たのしいヨガ	12	173	
センター主催	コミセン短期講座	16	186	248 [178]
	らくらく体操教室	18	62	

エ　コミセン祭りの開催

開催日	参加人数
12月3日	152

（内訳　出演者：58、観覧者：40、お茶会：54）

オ　会議室等の貸出し状況

件数	延利用人数
302	10,460[10,139]

⑵　高齢者福祉センター（市から指定管理）

高齢者の方々の相互のふれあいと交流を深め、生きがいと健康づくりの増進を支援しました。

ア　開館日数

施設	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
日数	296	293	296	296	296	296	296

備考１　台風14号の接近に伴い、９月18日は臨時休館。桜島噴火避難所開設に伴い、７月26日～28日まで臨時休館（東桜島）

２　施設整備等に伴う浴室(水着浴室含む)の臨時休業の日は、次のとおり。

	時期	日数 (休館日を除く。)
与次郎	令和４年11月22日（送湯管洗浄業務）	1日
東桜島	令和４年７月26日から同月28日まで避難所開設（レベル５）	３日
	令和４年10月18日から25日まで（加圧ポンプ更新）	７日
	令和４年11月22日から12月１日まで（ろ過器改修）	８日
桜　島	令和４年９月９日（泉源ポンプ取替）	１日

イ　利用人数

内訳	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
浴　室	38,740 (130.8)	10,104 (34.4)	47,386 (160.1)	4,580 (15.5)	—	40,054 (135.3)	33,632 (113.6)
水着浴室	—	—	30,691 (103.7)	—	—	37,916 (128.1)	—
浴室・水着 浴室以外	26,311 (88.9)	635 (2.17)	69,666 (235.4)	12,658 (42.8)	4,013 (13.6)	36,682 (123.9)	45,056 (152.2)
合　計	65,051	10,739	147,743	17,238	4,013	114,652	78,688

備考１　( )の数字は、１日当たりの平均人数

２　浴室・水着浴室以外の利用については、次表のとおり。

与次郎	集会室、教養講座室、トレーニング室、娯楽室、カラオケ室等
東桜島	休養室、集会室、会議室等
谷　山	トレーニング・レクリエーション室、集会室、娯楽室等
桜　島	集会室、教養娯楽室、屋根付ゲートボール場等
郡　山	大広間、会議室、娯楽室、ゲートボール場、調理室等

吉　野	トレーニング・レクリエーション室、集会室、多目的室等
伊　敷	トレーニング・レクリエーション室、娯楽室、多目的広場等

3　利用人数の前年度実績

与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
56,806	10,781	129,300	15,031	3,630	93,889	68,150

ウ　教養講座の開催状況

施設	内容		回数	延受講人数	合計
与次郎	前期	折り紙（新）	6	134	1,226 [808]
		リンパマッサージとお灸	6	85	
		簡単ヨガ	6	82	
	後期	始めてみようｴｺｸﾗﾌﾄ手芸	10	224	
		ストレッチ	10	132	
		健康太極拳入門（新）	10	161	
		ペン習字	10	214	
		私だって描けるよ！絵手紙	10	131	
		生き生き川柳入門	10	63	
東桜島	健康体操		7	63	166 [157]
	健康レクリエーション講座		7	61	
	脳若トレーニング講座		4	42	
谷　山	ニュースポーツで健康づくり		10	153	571 [561]
	知っておきたいお灸リンパマッサージ		10	96	
	暮らしに寄り添う片付け術		10	69	
	リズムに合わせて楽しく運動		10	155	
	温泉ソムリエに学ぶ温泉大学		10	98	
桜　島	いきいき健康体操		10	50	638 [530]
	楽しいグラウンドゴルフ		10	300	
	エコクラフト（初級）		10	65	
	エコクラフト（中級）		10	110	
	脳若トレーニング		10	113	
郡　山	季節の家庭料理		10	89	371 [454]
	身体のバランス改善		10	110	
	手足からの健康づくり		10	67	
	たのしい絵手紙		10	105	
吉　野	楽しい唱歌		10	151	544 [621]
	座ったままでチェア体操		9	146	
	初めての習字		10	67	
	楽しい切り絵アート		10	78	
	健康力を高める太極拳入門		10	102	
伊　敷	脳活！健康体操		9	145	619 [490]
	やさしいヨガ！		10	143	
	初めてのペン		10	100	
	はじめての介護予防太極拳		10	85	
	歌をうたって免疫力を高めましょう♪		10	146	

エ　健康相談の開催状況

施設	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
回数	5	12	6	6	5	12	6
延相談人数	19[15]	106[85]	31[28]	117[141]	18[11]	55[49]	18[22]

オ　その他

施設	内容	回数	参加人数	合計
与次郎	城下町鹿児島の今昔	1	22	678 [550]
	演劇と鹿児島弁のお話	1	35	
	今日からできる認知症予防	1	29	
	簡単！楽しい片付け術	1	19	
	手軽に出来るプランター菜園	1	12	

施設	内容		回数	参加人数	合計
与次郎	八幡小金管バンドふれあい演奏会		1	38	
	ゲーム大会～2022～		1	214	
	加齢に伴う身体の不調		1	24	
	コツコツ転倒骨折予防		1	28	
	与次郎まつり（作品展示のみ）		1	237	
	サッカーJリーグ2023開幕		1	12	
	りぼんかん敬老の日イベント参加		1	8	
谷　山	苔玉を作ってみよう		1	12	2,086 [1,809]
	心を癒すパステルアート		1	7	
	ふれあいミニコンサート		1	95	
	交通安全講座		1	11	
	楽しいリズム体操		1	19	
	七夕飾り付け交流会		1	31	
	たにっこりんとの七夕交流会		1	15	
	生きがい祭り（展示）		1	127	
	たにっこりんとの伝承あそび		1	15	
	水中エアロビクス運動指導		52	1,754	
桜　島	高齢者福祉センター桜島杯ゲートボール大会		1	35	35[46]
郡　山	ふれあい教室	郷土料理	3	28	287 [256]
		生き生き脳若返り	3	36	
		楽しく歌う昭和歌謡	3	74	
		笑って！動いて！レクリエーション	3	22	
		春のお菓子づくり	2	19	
		理学療法士による健康づくり	3	49	
		たのしい絵手紙	2	20	
		ゆうゆう気功	2	13	
		かんたん！軽スポーツ	2	26	
	生き生き元気講座	食生活改善	1	20	59 [28]
		賢い消費生活	1	12	
		交通安全体験	1	27	
吉　野	よかよか体操		50	675	1,986 [1,633]
	水中運動の効果と実践方法について		1	10	
	自主講座活動状況紹介及び作品展示		1	334	
	水中運動指導		51	876	
	北部親子つどいの広場との共催交流イベント（七夕・クリスマス会）		2	40	
	脳活！健康体操		1	21	
	交通安全講習会		1	30	
伊　敷	西部親子つどいの広場との共催交流イベント		12	502	1,392 [481]
	第１０回すこやか長寿まつり高齢者作品展		1	554	
	「木彫りの会」作品展示		1	78	
	交通安全教室		5	76	
	「寒蘭会」　寒蘭展示		1	153	
	独自講座　ツボと健康		1	29	

備考１　吉野の共催交流イベントは、北部親子つどいの広場の利用者を含む。
２　伊敷の共催交流イベントは、西部親子つどいの広場の利用者を含む。
３　第10回すこやか長寿まつり高齢者作品展は、鹿児島市が主催する「すこやか長寿まつり」を高齢者福祉センター伊敷で与次郎、谷山、吉野及び伊敷合同の作品展を開催したものである。

⑶　心身障害者総合福祉センター(ゆうあい館)（市から指定管理）

心身に障害のある方々に対し、ふれあいと自立活動を通じて、福祉の増進や社会参加の意欲向上を図るため、研修、相談、教養、レクリエーションの場を提供しました。

開館日数	延利用人数		
			1日平均
305	会議室等	16,746	54.9
	体育館	11,030	36.2
	相談室	814	2.7
	団体事務室、小規模作業所	12,522	41.1
	見学(ボランティア、実習生を含む。)	651	2.1
	合計	41,763[34,924]	136.9

ア　ことばの発達指導事業

（ｱ）ことばの発達指導

ことばの発達上指導が必要な幼児（３歳～就学前児）に対し、ことばの発達指導を行い、併せてその保護者に助言しました。

開設日数	利用人数		
		実人数	延人数
227 [222]	相談	33	264
	指導	28	701
	合計	61[49]	965[983]

備考　感染防止のため、洗口液を使用し事前にうがいをするなどの対策を実施しました。

（ｲ）ことばの発達指導講演会開催【新規】

幼児のことばの発達に関心のある保護者・関係者を対象に、講演会を開催しました。

（日　時）　７月16日(土)
（講　師）　近畿大学病院　言語聴覚士　久保田　功　氏
（演　題）　幼児期のことばの発達における問題点とその対策
（受講者）　32人

イ　福祉機器リサイクル事業

市民から無償で提供された車椅子等を、必要とする方へ無料であっ旋しました。

内訳	提供登録件数	譲受登録件数	引渡完了件数
車椅子	33	38	27
歩行補助用具	35	13	9
特殊寝台	7	8	7
エアーパッド	0	0	0
合計	75[69]	59[69]	43[52]

ウ　利用者相談・支援等事業

心身障害者総合福祉センターの利用者の相談に応じるとともに、情報提供や助言、必要な福祉サービスの利用支援等を行いました。

内訳	延相談人数
更生相談	19[27]
健康相談	795[837]
計	814[864]

エ　障害者IT講習会開催事業

パソコン等の操作方法を習得する講習会を開催し、社会参加への促進を図りました。

開設講座数	18（パソコン基礎、エクセル基礎等）［16］				
受講者人数 （障害種別）	肢体・内部	聴覚	視覚	精神	合計
	49	11	0	0	60[32]

⑷　吉田福祉センター（市から指定管理）

地域における福祉活動の拠点及び地域住民のコミュニティづくりやボランティア活動の場として、広く市民に利用していただくための運営に努めました。

ア　開館日数・利用状況

開館日数	延利用人数	
		１日平均
296	6,470[5,815]	21.9

イ　センター講座開催状況

内容	回数	延受講人数
親子で作るハ―バリウムボールペン	1	21
楽しく書こう！書道講座	4	49
お灸で気分すっきり！	3	37
理学療法士が教える健康な身体づくり	4	51
ハーブ＆アロマ＋αで役立つケア	4	39
親子エコクラフトクリスマスボックス作り	1	13
エコクラフトでかご作り	1	15
合計		225[224]

⑸　地域福祉館（市から指定管理）

福祉館イベントや福祉館サロン等を実施するとともに、趣味団体等の利用促進を図り、地域福祉館(41館)の有効活用に努めました。

ア　開館日数・利用状況

開館日数	延利用人数		
	41館合計	1館当たり平均	
			１日平均
345	557,894[504,467]	13,607	41館合計39.4

備考　台風14号接近による避難所開設に伴い、９月18日・19日は臨時休館

イ　「福祉館だより」の発行

「福祉館だより」を41館それぞれで年４回発行し、町内会等に配布しました。

発行時期	部数
第51号(４月)	16,000
第52号(７月)	16,000
第53号(10月)	16,000
第54号(１月)	16,000
合計	64,000[64,000]

ウ　福祉館イベントの開催

「七夕まつり」「福祉館まつり」「趣味活動グループの作品展」等、地域独自のイベントを開催しました。

回数	参加人数
44[44]	3,115[2,906]

エ　自主講座開催状況

地域福祉館主催の講座を開催しました。

内容	開催館数	回数	参加人数
ボランティア出前講座	4[3]	4[3]	94[61]
理学療法士による出前講座	2[2]	2[2]	35[36]

１０　生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会から受託）

生活福祉資金貸付・債権管理強化事業

生活福祉資金等の借入相談や申請受付、払込票等の発送を行いました。

ア　貸付状況

(ｱ) 生活福祉資金

市内に居住し、市民税・県民税が均等割課税以下の世帯等に対し、経済的自立や社会参加の促進、生活の安定を図るため、生活福祉資金の貸付を行いました。

貸付件数	うち特例貸付	貸付金額（千円）	うち特例貸付
1,248 [7,947]	1,080 [7,751]	427,467 [3,415,963]	375,800 [3,352,650]

備考　「特例貸付」とは、感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例措置によるもの（再掲）。

(ｲ) 離職者生活支援つなぎ資金

住居のない離職者が、公的給付制度等の給付又は貸付を受けられるまでの生活費の貸付を行う事業です。なお、相談、貸付実績等はありませんでした。

貸付件数	0[0]

(ｳ) 償還指導等の状況

未収債権解消のため、払込票等の発送を行いました。

イ　借入相談等の状況

（単位：件）

場所		福祉資金課	谷　山出張所	支部					合計
				吉田	桜島	喜入	松元	郡山	
合計		4,142	194	5	0	5	21	7	4,374 [12,307]
内訳	借入相談	4,141	194	4	0	4	17	7	4,367
	借受人・保証人の相談	0	0	1	0	1	3	0	5
	民生委員の償還指導等相談	1	0	0	0	0	1	0	2

１１　共同募金運動への取組

１０月から１２月までの３か月間、県共同募金会鹿児島市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力しました。

種別	実績額（円）	備考
戸別募金	32,607,725	「街頭募金」は、32か所で実施し、延べ101回、2,737人が参加しました。
街頭募金	3,164,261	
法人募金	7,903,427	
学校募金	1,615,832	
職域募金	3,352,437	
その他募金	1,242,309	
合計	49,885,991[53,432,425]	

１２　広報活動

⑴　広報紙の発行、ホームページによる情報提供

ア　「かごしま市社協だより」及び「音声版社協だより」の発行

発行時期	部数	
	広報紙	音声版
第144号(10月)	33,000	180
第145号(１月)	29,500	180
第146号(令和５年４月)	29,500	180
合計	92,000[89,000]	540[540]

イ　パンフレットの作成

本会の活動を周知するとともに、活動への理解を深めていただくため、各種事業の内容や本会が管理する施設の概要等を記載したパンフレットを作成し、関係団体等に配付した。

鹿児島市社会福祉協議会パンフレット	1,000部
鹿児島市社会福祉協議会パンフレット（概要版）	3,000部

ウ　ホームページによる情報提供

写真等の画像を多用して内容等の充実を図るとともに、事業や発信したい情報の随時更新に努めました。

⑵　市広報紙「市民のひろば」や報道機関等の活用

各種イベントや講座の案内等の情報を「市民のひろば」へ掲載するとともに、新聞社等報道機関への取材依頼を行いました。

⑶　社協出前講座の実施

本会の活動に対する理解を深めていただくため、職員が市民の開催する集会等に出向き、事業についての説明を行いました。

テーマ	件数	実施課
共同募金に関すること	1	企画総務課
地域福祉活動計画に関すること	4	地域福祉推進課
福祉ネットワークに関すること	7	
地域福祉館に関すること	1	
民児協と市社協の組織の違いに関すること	1	
成年後見制度に関すること	17	成年後見センター
ボランティアに関すること	1	ボランティアセンター
施設に関すること	1	高齢者福祉センター与次郎
合計	33[25]	

１３　法人の運営

⑴　理事会及び評議員会の開催（再掲）

事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議するため、適宜、理事会及び評議員会を開催するとともに、業務執行状況や会計について監事等による監査を受けました。

⑵　自主財源の確保

ア　財源の有効活用

適正な人員配置、効果的な積立金運用、競争入札の実施、節電対策の徹底等により、限られた財源の有効活用に努めました。

イ　寄附の受入

多くの方々から地域福祉の増進のための寄附をいただきました。

種別	件数	受入額（円）
一　般　寄　附	109[95]	10,741,973[13,326,637]
香典返し寄附	26[24]	1,159,450[1,440,000]
物　品　寄　附	35[50]	61,660[4,964,390]

備考　物品寄附の受入額は、金額換算したもの。

物品寄附の内容	件数
コピー用紙	10
はがき類	6
書籍等	5
マスク	2
救急医療情報キット	2
高齢者用杖	1
食品	1
拡声器スピーカー	1

物品寄附の内容	件数
囲碁盤・碁石	1
絵画	1
額縁	1
消毒液	1
ミシン	1
座布団等	1
教養娯楽品	1

ウ　本会会員の拡充

本会会員を拡充するためにチラシやホームページ等による広報を行うとともに、各種団体や法人等への訪問依頼を行い、多くの市民や事業所等に会員として支援をいただきました。また、より分かりやすくするために会員種別の見直しを行いました。

種別	加入数	実績額（円）
一般会員（年額　１千円～）	2,321人	3,089,000
団体会員（年額　２千円～）	69団体	284,000
法人会員（年額　５千円～）	549事業所	4,515,000
合計		7,888,000 [8,167,000]

⑶　職員の資質向上

職務内容や職責に応じた研修等により、職員の資質向上に努めました。

ア　主な研修会等の実績

テーマ・内容	開催日	参加人数
新規採用職員研修	４月７日～８日	12
介護認定調査員研修	４月26日、11月18日	42、41
社会福祉施設等新任職員研修	５月11日、12日	4
介護支援専門員更新研修	５月23日、７月4日、９月12日	11
市町村職員を対象とするセミナー「第二期成年後見制度利用促進基本計画の概要等」（オンライン）	５月27日	3
「特定非営利活動法人かごしまこども食堂支援センターたくして」キックオフミーティング	５月24日	8
かごしまおもいやりネットワーク事業総会	５月26日	2
福祉教育サポートセミナー（オンライン）	６月24日	1
社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会	６月28日	8
相談包括化推進員養成講座[年６回]	７月～２月	7
災害ボランティアセンター運営支援ボランティア養成講習会（オンライン）	７月１日	2
成年後見制度利用促進・総合的な権利擁護支援に係る地域巡回自治体セミナー（オンライン）	７月22日	2
社会福祉士実習指導者講習会	７月23日、24日	2
鹿児島県認定調査員研修担当者現任研修（オンライン）	８月31日	2

テーマ・内容	開催日	参加人数
全国福祉教育推進員研修	９月６日	1
公正な採用選考のための研修会	９月14日	1
市町村社会福祉協議会事務局長研修会	９月26日	1
福祉サービスに関する相談・苦情解決事業研修会	９月26日	1
シニアボランティア講座	９月28日	1
鹿児島市認定調査員地区別研修会	10月20日	42
ひきこもりに関する支援者のための研修会	10月20日	7
若年性認知症セミナー	11月11日	5
第９回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	11月12日～27日	11
あんしん・安全ネットワークオンラインセミナー	11月18日	8
災害ボランティアセンターマネジメント研修	12月６日、７日	1
地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修講師養成研修会	12月７日	1
第15回全国校区・小地域福祉活動サミット・オンライン	12月11日	5
みんサポ応援講座（支えあい活動従事者研修会）	12月13日	1
市町村社会福祉協議会職員研修Ⅰ（オンライン）・Ⅱ	12月21日、２月２日	4、4
一般事業主行動計画（女性活躍推進法関係）に基づく研修〔キャリア形成支援セミナー〕	１月20日、１月24日	18
コミュニティワーカー研修会（基礎編・実践編）	１月20日	2
鹿児島子ども食堂応援団inイオンモール鹿児島　子ども食堂シンポジウム	１月21日	4
福祉教育推進セミナー	11月24日	1
生活支援コーディネーター研究会議	１月25日	6
ボランティアコーディネーター・ボランティア担当職員セミナー	１月25日、26日	1
第４回認知症フォーラムin南さつま	１月28日	5
こども食堂支援策解説セミナー	１月30日	1
第１回ヤングケアラー研修会	１月30日	6
かごしまおもいやりネットワーク事業相談員・コミュニティワーカー研修会（オンライン）	２月３日	1
「広がれボランティアの輪」連絡会議　勉強会	２月２日	1
重層的支援体制整備構築推進人材養成事業ブロック別研修（オンライン）	２月３日	1
職員全体研修会（ゲートキーパー養成講座）	2月3日、2月10日	22、25
成年後見制度利用促進体制整備研修(応用研修)（オンライン）	２月６日、７日、15日	2
第２回ヤングケアラー研修会	２月12日	5
スキルアップ研修（e-ラーニング）	２月15日～３月８日 ３月17日～31日	36
障害者基幹相談支援センター定例会研修会『意思決定支援について』（オンライン）	２月16日	1
鹿児島市障害者自立支援協議会定例会研修会	２月16日	1
鹿児島市災害時協力協定団体等意見交換会（オンライン）	２月20日	1
ふれあい・いきいきサロン研究集会inかごっま	２月21日	7
市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会	２月26日、7日	1
一般事業主行動計画（女性活躍推進法関係）に基づく研修〔キャリアコンサルティング〕	2月28日、3月 7日、 3月 8日、3月14日	18
階層別（係長・主査）職員研修	３月３日	17
重層的支援整備体制連絡会（オンライン）	３月４日	2
職員全体研修会（ゲートキーパー養成講座）※動画	3月6日～17日	64
制度改正等説明会	３月９日	3
社会福祉協議会活動全国会議（オンライン）	３月16日	4
合計		497 [253]

イ　地域福祉館職員の研修実績

テーマ・内容	開催日	参加人数
接遇研修	５月６日、12日、13日、９月28日、29日	234
新任職員研修	６月17日	31
普通救命講習	６月22日、23日、９月15日、16日、10月５日	235
地球温暖化と私たちの暮らし	８月５日	41
①障害者福祉施策 ②精神障害を正しく理解しよう	11月17日、18日、 ３月８日	161
公共建築物省エネルギー推進事業及び節電対策等について	12月６日	41
グループワーク	12月13日、14日、３月16日、17日	186
合計		929 [879]

第４　相談・苦情の処理状況

内容	受付件数			処理状況	
	相談	苦情	合計	解決済	未解決
説明・情報不足	0	3	3	3	0
職員の態度	0	15	15	15	0
サービス内容	32	7	39	39	0
権利侵害	0	1	1	1	0
その他	24	6	30	30	0
合計	56 [29]	32 [60]	88 [89]	88 [89]	0 [0]